

令和7年9月第14回定例会一般質問要旨

9月2日（火）10時開会

総時間9時間45分（1人45分以内）

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
1	5	中島達郎	1. 高齢者の住環境対策	(1) 高齢者の集いの場としても利用できるよう、旧佐賀銀行有田支店跡地を活用できないか。 (2) 高齢者の屋内熱中症予防のため、指定避難所でもある有田町文化体育館と有田町体育センターに冷房設備を設置できないか。	町長 担当課長	20
			2. これからの移住・定住対策	(1) 北海道白糠町では、町の遊休地を活用して定住宅地の無償提供を実施している。また、大分県由布市でも市有地を活用した若者定住住宅推進事業（宅地無償譲渡）を実施している。町の所見は。 (2) 移住・定住を促進するインフルエンサー等の人材育成や、西九州させぼ広域都市圏との連携は。	町長 担当課長	25

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
2	1	浦川 和彦	1. 畜産農家の実態とこれからの支援策	(1) 畜産農家の現状認識と課題の特定について ①飼料高騰の時期と原因は。 ②畜産農家が直面している具体的な経営状況について、どのようなデータを把握しているか。(肉用牛・養鶏・養豚農家) ③特に深刻であると認識している課題は。 (2) 進捗状況とこれからの対策について ①これまでどのような対策を講じ、またその進捗状況は。 ②所得の不安定を補う緊急支援策や飼料自給率向上のための支援などはあるか。 (3) 後継者対策と先進技術の導入について ①後継者不足対策として新規就農者確保や育成に向けた具体的な取り組みは。 ②I C T技術の導入や省力化設備の導入、スマート農業化への移行支援は。 ③国産飼料への転換促進は。 (4) 経営の多角化と販路拡大に向けて ①6次産業化や地域ブランド化促進の販路拡大の検討は。 ②国や県、伊万里市やJ Aとの連携は。	町長 担当課長	45

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
3	4	諸隈洋介	1. 泉山・大谷線（都市計画道路）再事業の進捗 2. 有田歴まち再生ファンド事業と通年観光について	(1) 泉山・大谷線（都市計画道路）のこれまでの経緯の確認。 (2) 再事業化に向けて地図訂正の実施は。 (3) 費用対効果や利便性の確認と、佐賀県公共事業評価監視委員会への諮問は。 (4) 一時的な休止とし、町長は「県との連携を維持しつつ、南原原宿線を優先し、その後に再度進めたい」と明言している。今後は。 (1) 有田歴まち再生ファンド事業の進捗は。 (2) 通年観光と古民家再生の取り組みへの課題は。	町長 担当課長	45

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
4	2	岩尾 匡	1. 有田町公共施設等総合管理計画の今後	(1) 令和6年の改訂を受け、今後の見直しや課題などについて ①優先的な取り組みと課題は。 ②その実施計画と期限は。 (2) 少子化が著しく進む中での教育施設の今後について ①令和4年度以降の各小中学校の利用状況とコスト状況は。 ②各小中学校の屋内外施設の将来的な管理コスト予想は。 ③管理に関する基本方針について、特記すべき点は。	町長 教育長 担当課長	45
			2. 学校再編	(1) 町民の意見聴取と説明会について ①中学校統合に関する説明会の状況は。 ②パブリックコメントなどの拡充案は。	町長 教育長 担当課長	

通告順	議席	氏名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答弁者	時間
5	12	池田 榮次	1. 町と政教分離について 2. 略称「歴史まちづくり法」の指定・活用について	(1) 町の政教分離に関する基本的姿勢は。 (2) 集落の地蔵庵建て替え費用の補助申請を却下したのはなぜか。 (3) 町の指定文化財「城山観音堂磨崖種子」を保護する屋根の修理費用の補助申請を却下したのはなぜか。 (1) 略称「歴史まちづくり法」による地域指定申請の意向は。	町長 教育長	45

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
6	15	松尾 文則	1. 有田町条例等と現状について	(1) 有田町事務専決及び代決規程、事務分掌規則について (2) 有田町職員等の旅費に関する条例について (3) 有田町職員提案制度実施要綱について	町長 担当課長	20
			2. 畜産農家支援策について	(1) エンテロコッカス・セコラムの発生について ①農家への助成は。 ②施設・機械等の補助は。 ③県へ防疫研究を要望しては。	町長 担当課長	10
			3. 農業経営基盤強化促進法について	(1) 地域計画の説明を。 (2) 地域計画地区の現状と課題は。 (3) 農地中間管理事業の改正について。 (4) 今後の目標と、目標達成するための措置は。	町長 担当課長	15

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
7	9	原田一宏	1. 重層的支援体制整備事業	(1) 重層的支援体制整備事業について ①どのようなものか。 ②必要性の認識は。 ③町内の事例は。 (2) 移行準備について ①どのようなことをするのか。 ②先行自治体との情報共有は。 (3) 関係課や関係団体との連携について ①役場内の連携は。 ②役場内の体制と関係団体との連携は。 (4) 重層的支援体制整備後、どのように変わるのか。 (5) 今後のスケジュールは。	町長 担当課長	45

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
8	6	樋渡 徹	1. 森林整備について	(1) 戦後の拡大造林政策時代に、苗木を住居地近くに植林した事例があるが、倒木による建物被害への事前対策は。 ①実状把握は。 ②自費での伐採例も見受けられるが、森林環境税の使途に該当するか。また、伐採後の植林義務は。 (2) 後継者のいない高齢の山林保有者から、譲渡についての相談が増加傾向にある。譲受側への税対策は。 (3) 植林された人工林も 50 年を超え、今後の木材利用の計画（見通し）は。 (4) 森林整備の担い手育成計画は。	町長 担当課長	45
			2. 事業者と労働者について	(1) 外国人事業者による事業所の買収や民家の購入など、現状把握と受け止めは。 (2) 町内でも外国人労働者が増加傾向にあるが、居住状況や地域内のコミュニティ（人的交流）の状況は。		

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
9	10	松永俊和	1. 雨水対策と環境整備	(1) 町道（ズウメキ戸杓線）沿いの雨水対応について ①民有地への出水処理後の結果は。 ②住民の要望と対応策は。 ③側溝蓋（グレーチングなど）の施工対応を。 ④町道からの流入水を直接側溝へつなぐ検討を。 (2) 有田の最終処分場（クリーンパーク有田）について ①令和5年9月議会で、技術管理者の後継者育成・職員配置をお願いしたが、未だできていない。早急に検討を。 ②受け入れはいつまで続けるのか。 ③平成13年からの地元住民との約束を考慮し、「最終処分場跡地利用等委員会」を立ち上げ、地元住民との協議の開始を。また、協議内容や約束事などの厳守を地元住民に示すため、覚書か誓約書の提示を。	町長 担当課長	45

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
10	3	久保田 豊	1. 安全・安心対策	(1) 伝統的建造物群保存地区(内山地区)の防災、延焼問題の対策は。 (2) 避難所の今後の整備対策は。 (3) 信号機がない横断歩道での一旦停止(人が立っている時)問題。	町長 担当課長	45
			2. 学校の統廃合	(1) 進捗状況は。 (2) 小学校の統廃合は。 (3) 避難所としての新校舎の考え方は。		
11	7	手塚 英樹	1. JR九州佐世保線の今後について	(1) 西九州新幹線武雄～長崎間開通から2年経過した佐世保線の今後は。 ①新幹線武雄～博多間はF G T方式が断念された現在、考えられる方式はフル規格かミニ新幹線となるが、町の意向は。 ②新幹線武雄～博多間が開通すれば、佐世保線武雄～佐世保間の運行は ④JR九州での運行 ⑤上下分離方式 ⑥第三セクター方式 の3通りが予想されるが、町の想定は。	町長 担当課長	30
			2. 新中学校建設について	(1) 災害時の避難場所として、再生可能エネルギーで自給自足できる防災機能を強化した建物を検討しては。		
			3. 高齢者熱中症対策について	(1) 高齢者世帯にエアコン設置・修理支援の補助金を。		

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
12	13	梶原 貞則	1. 防災対策について	(1) 災害時の避難所のトイレの数、避難者1人当たりの居住面積、備蓄品等、基準を満たしているのか。 (2) 各区における避難訓練の状況は。また、防災士との連携は。	町長 担当課長	26
			2. 観光推進について	(1) コミュニティバス及び MR 車両に、古伊万里紋様や色鍋島紋様、柿右衛門様式等、伝統ある有田焼の絵柄を施して、インスタ映え等の情報発信に繋げ、観光客の誘致促進を図ってはどうか。		19
13	8	福島 日人士	1. 町道川ノ上・土蔵線について	(1) 楠木原公民館前の交差点から国道 35 号までの安全対策として、道路拡幅と歩道設置を。	町長 担当課長	45
			2. 高齢者の健康維持について	(1) 要介護認定区分 3 以上の方に対する健康維持の対応は。		
			3. デマンドタクシーについて	(1) 現在の利用者数は。		